

## 論文審査結果の要旨

論文提出者	(氏名) 竹山光栄
論文審査委員	主査 城戸寛史 印
	副査 都築尊 印
	副査 大野純 印
論文題目	Fabrication of bioresorbable hydroxyapatite bone grafts through the setting reaction of calcium phosphate cement
(論文審査結果の要旨)	
<p>本学位審査論文は、リン酸カルシウムセメントの硬化反応を利用して気孔率や結晶性が制御された HAp ブロックを作製し、各因子が骨伝導性や生体吸収性に及ぼす影響を調査するとともに、生体吸収性 HAp 骨補填材が創製可能かを検討したものである。その結果、リン酸カルシウムセメントの硬化反応を利用して作製した HAp 骨補填材は気孔率および結晶性の制御が可能であり、in vitro 生体吸収性を高めることができることを証明した。</p> <p>本研究は、すでに臨床応用されている Hap を主成分とする骨補填材の生体内での吸収速度を調整する可能性を示唆しており、歯科領域だけでなく、骨造成手術を必要とする多くの治療の臨床に資するところが大きい、意義のある研究である。</p> <p>公開予備審査会（令和4年12月19日）とその後の追加レポート（令和4年12月28日）および口頭試問（令和5年1月18日）において、明確な説明と質疑に対する適切な回答が得られ、予備審査委員の3名の合議の結果、本論文は学位論文として適格であり、予備審査を合格と判定した。</p>	